

損毀スルニ就キ若シ此墓中ニ葬ラル、者及ヒ其親戚ニ對シ怨意アルニ由テ之ヲ爲シタルキハ四箇月ヨリ少カラス八箇月ヨリ多カラサル時間ノ禁獄ニ處セララル

若シ又不慮ナルノミニ由テ之ヲ爲シタルキハ五十「ル」ブル以下ノ贖金ニ處セララル

各場合ニ於テ其罪人ハ自費ヲ以テ損傷ノ墓碑ヲ修繕セサル可ラス(罰則第百六十九條及ヒ第百七十條ノ第一項)

第八百五十九條 都會或ハ寺院ニ於テスト雖モ埋葬ノ爲メニ定メタル墓所ニ於テセスシテ死體ヲ埋葬

スル僧侶並ニ死人ノ埋葬ヲ避ク可キ法律上ノ事故ナクシテ其埋葬ヲ避クルノ僧侶ハ僧管廳ノ處分ニ依テ懲治刑ニ處セララル

第八百六十條 法律ノ允許セサル情實アルニ於テ裁判醫ノ未ダ檢視セサル前ニ死人ヲ埋葬スル者ハ三百「ル」ブル以上ノ贖金或ハ三週間ヨリ少カラス三箇月ヨリ多カラサル時間ノ拘留ニ處セララル

然レモ若シ其者ハ殺害ノ形迹ヲ隱蔽スルノ故意ヲ以テ斯ノ如ク埋葬シタルノ證アルキハ其場合ニ於テ事ノ情實ニ依リ殺害ノ助謀人或ハ隱匿人ノ如ク

第四百六十條

官署ノ禁制ニ背キ傳染病ニ罹リタル

獸類ヲシテ他ノ獸類ト雜處セシメシ者ハ二月ヨリ

少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ

ラレ且百「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨリ

多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百六十一條

若シ前條ニ記シタル獸類ヲ雜處セ

シメシニ因リ他ノ獸類ヲシテ傳染病ニ罹ラシメシ

時ハ官署ノ禁制ニ背キ其罪ヲ犯シタル者二年ヨリ

少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ

ラレ且百「フランク」ヨリ少カラス千「フランク」ヨリ多

カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則ト獸類

ノ傳染病ニ管シタル法律及ヒ規則ヲ行フ事並ニ其

法律及ヒ規則ニ背キタル罪ヲ罰ス可キ事ト相觸ル

、トナカル可シ

第四百六十二條

若シ田野或ハ森林ノ看守人又ハ名

義ノ如何ヲ問ハス警察官吏此一章ニ記シタル輕罪

ヲ犯セシ時ハ其犯人ヲ禁錮スル期限一月ヨリ少カ

ラス又其輕罪ノ他ノ犯人ヲ處ス可キ至重ノ刑ニ更

ニ其三分一ヲ増加シタル時間ヨリ多カラサル可シ

第四百五十二條

馬又ハ其他車ヲ挽カシメ或ハ騎行

ノ用ニ供シ或ハ物ヲ載スル用ニ供ス可キ獸類又ハ
 牛羊山羊豚又ハ池沼ニ養フ魚ニ毒物ヲ與ヘシ者ハ
 一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
 刑ニ處セラレ且十六「フランク」ヨリ少カラス三百「フ
 ランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ又其
 犯人ハ裁判所ノ言渡ニ因リ二年ヨリ少カラス五年
 ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ケシムルヲ
 得可シ

第四百五十三條

已ムヲ得サルニ非スシテ前條ニ記
 シタル獸類ノ一ヲ殺セシ者ハ左ノ刑ニ處セラル可

シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有シ又ハ借受ケシ
 家屋又ハ繞圍ヲ爲シタル場所又ハ其附属ノ場所又
 ハ土地内ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル時ハ二月ヨリ少
 カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
 ル可シ

若シ犯人ノ所有シ又ハ借受ケシ場所ニ於テ此輕罪
 ナ犯シタル時ハ六日ヨリ少カラス一月ヨリ多カラ
 サル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ前ノ二項ニ記シタル以外ノ場所ニ於テ此輕罪

ヲ犯シタル時ハ十五日ヨリ少カラニ六週ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 何レノ場合ニ於テモ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯セシ時ハ其刑中ノ至重ノ刑ニ處セラル可シ
 第四百五十四條 已ムヲ得サルニ非スシテ家畜獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有シ又ハ借受ケシ場所ニ於テ其獸類ヲ殺セシ者ハ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯セシ者ハ其刑中ノ至重ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十五條 第四百四十四條ヨリ前條ニ至ル迄ノ各條ニ記シタル場合ニ於テハ其犯人損失償高ノ四分一ヨリ少カラス十六フランクヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○獨逸

第三百二十七條 傳染病ノ流傳又其蔓延ヲ豫防スル爲メ該務ノ官司ヨリ設ケタル拒絶法又ハ監察又ハ禁制等ヲ知リテ故ヲニ犯シタル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ若シ其犯罪ニヨリ人ヲシテ其傳

染病ニ罹ラシメタル者ハ三月ヨリ短カラス三年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

第三百二十八條 禽獸ノ傳染病ヲ流傳又其蔓延ヲ豫防スル爲メ該務ノ官司ヨリ設ケタル拒絕法監察又ハ禁制等ヲ知リテ故ヲニ犯シタル者ハ一年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ若シ其犯罪ニヨリ禽獸ヲシテ傳染病ニ罹ラシメタル者ハ一月ヨリ短カラス二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

○白耳義

第三百十九條 凡官ノ成規ニ準ス可キ獸類傳染病ヲ其主人或ハ其番人直チニ住邑ノ里正ニ告ケサル者若クハ告ル後里正ノ答ヲ待タズ外ニ放チ出ス者ハ八日ヨリ二月迄ノ獄ニ處シ二十六「フランク」ヨリ二百「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百二十條 凡官吏ノ命ヲ用ヒス病獸ヲ他ノ獸ニ近カシムル者ハ二月ヨリ六月迄ノ獄ニ處シ一百「フランク」ヨリ五百「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百二十一條 凡前條ノ法ヲ犯シ他ノ獸類ニ其病

ヲ傳染セシムル者ハ六月ヨリ三年迄ノ獄ニ處シ一
百「フランク」ヨリ三千「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

○埃及

第三百十九條 何人ニ限ラス巳ムヲ得サルニ非スシ
テ他人ニ屬スル馬或ハ其他車ヲ挽カシメ騎行ノ用
ニ供シ物ヲ載スル用ニ供ス可キ獸類或ハ他人ニ屬
スル其他ノ家畜獸ヲ故ラニ殺シタル者ハ左ノ刑ニ
處セララル可シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有シ又ハ土地借受

人ノ所有スル家屋又ハ繞圍ヲ爲シタル場所又ハ其
附屬ノ場所又ハ其土地内ニ於テ右ノ罪ヲ犯シタル
時ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セララル可シ
若シ犯人ノ所有シ又ハ借受ケシ場所ニ於テ右ノ罪
ヲ犯シタル時ハ一週ヨリ少カラス一月ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ
若シ總テ其他ノ場所ニ於テ右ノ罪ヲ犯シタル時ハ
十五日ヨリ少カラス一月半ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セララル可シ

第三百二十條

前條ニ記スル獸類又ハ池沼中ノ魚ヲ

毒ヲ以テ殺セシ者ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多

カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第三百二十一條 第三百十八條第三百十九條第三百

二十條ニ記シタル總テノ場合ニ於テハ其犯人二十

「ピヤストル」ヨリ少カラス二百「ピヤストル」ヨリ多カ

ラサル罰金ヲ言渡サル可シ

○英吉利

傳染ス可キ病人ヲ路頭行人多キ所ニ置キ一般ノ人民

ヲ煩惱スル者モ贖罪入獄ニ處斷ス

凡夜人ノ地内ニ於テ禽獸ヲ獲殺シ或ハ之ヲ獲ント欲

シ砲銃網罟其餘ノ器械等ヲ携ヘル者ハ初犯ハ三月

ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ限滿テ一年ノ

善行ヲ保結セシム如シ保人ヲ得サル時ハ更ニ六ヶ

月ノ入獄ニ處斷ス但タ保人ヲ得レハ免ルス再犯ハ

六ヶ月ノ入獄ニ二年ノ保結セシム如シ保人ヲ得サ

レハ更ニ一年ノ入獄ヲ加フ三犯ハ輕罪ニ坐シ三年

ヨリ七年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ

處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ地主奴僕等ノ捕道セントスルヲ犯人器械等ヲ以テ之ヲ拒防スル者ハ輕罪ニ坐シ五年ヨリ十四年ノ徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ苦役ヲ加フ凡馬驢牛羊猫犬等ヲ殘酷ニ毆打驅逐飼養スル者ハ治安裁判所ニ於テ五封度ニ過キサル罰金ヲ追徴ス若シ因テ殘傷スル者ハ十封度ニ至ル償金ヲ其本主ニ與ヘシム

若シ馬驢牛羊等ヲ他所ニ遞送スル中途ニ於テ故ナク暴殘ニ束縛毆打シ或ハ牛鬪鷄鬪ヲ弄スル者モ罪亦同シ

凡馬牛羊豚ヲ故ラニ損害スル者ハ重罪ニ坐シ十四年ニ止ル徒刑ニ處斷ス

○魯西亞

第八百三十一條 防疫ノ規則ニ對シテ左ノ犯罪アルヲ證徴セラレタル者ハ族權全部ノ剝奪及ヒ死刑ニ處セララル

第一 疫病ノ蔓延ヲ豫防スル官廳ノ處置ニ腕力或ハ暴行ヲ以テ抗抵スルヲ證徴セラレタル者

第二 防疫線ヲ通過スルノ故意ヲ以テ防疫番卒ニ

暴行ヲ加ヘ並ニ夫ノ暴風雨或ハ敵ノ追迫及ヒ其
 他船長或ハ船官及ヒ乗組カ避ク可ラサルヲ場合
 アルカ如キ特別ノ重大事故アルニアラスシテ番
 船ノ要求ニ從ハス船舶ヲ防疫港ニ擅入セシムル
 ナ證徴セラレタル者

第三 防疫所或ハ封鎖舎ニ惡謀ヲ以テ放火スルヲ
 證徴セラレタル者

第八百三十二條 防疫所或ハ防疫線又ハ封鎖場ニ於
 テ疫病ノ現存スルニ方リ左ノ罪人ト證セラル、者
 ハ同上ノ罪ニ處セラレ可シ

第一 防疫線或ハ對鎖場ヨリ自ラ出テ又ハ人間或
 ハ畜類ヲ出スノ罪人

第二 封鎖或ハ番兵ヲ以テ守護スル所ノ家宅ニ疫
 病人ノ顯レタルキニ其家宅ヨリ出ルノ罪人並ニ
 傳染病ノ現存スル時ニ方リ官廳ノ允許ヲ有セス
 或ハ允許ナキ時刻ニ於テ其家宅ヨリ出ルノ罪人
 又ハ封鎖舎ヨリ出ルニ關シテ官廳ヨリ已レニ渡
 シタル記標ヲ他ノ者ヘ擅ニ授與スルノ罪人

第三 疫病人ヲ隱蔽シ或ハ疫病死人ヲ家宅ヨリ竊
 ニ運出スルノ罪人

第四 傳染病者ノ物品或ハ傳染病者ト共ニ在リシ

物品ヲ防疫線或ハ封鎖線ニ由テ運出授與或ハ投

移スルノ罪人又ハ其物品ヲ隱匿スルノ罪人

第五 疫病死人ノ跡ニ遺殘シタル物品ヲ洗滌スル

ニ出サ、ルノ罪人

第六 封鎖中ノ家屋及ヒ遺存シタル家屋ヨリ竊盜

スルノ罪人ナリ

若シ疫病ノ熾盛ナル時ニアラスト雖モ其蔓延ノ疑

念アル時ニ方リ防疫所防疫線或ハ封鎖線ニ於テ此

條ニ掲載シタル防疫規則及ヒ豫防方法ヲ犯シ或ハ

犯サシムル中ハ族權全部ノ剝奪及ヒ西比利遠地ノ

謫所放流ニ處セラレ

第八百三十三條 疫病ヲ止絶スルニ使用セララル、所

ノ官吏番卒及ヒ小吏モ亦前文第八百三十一條及ヒ

第八百三十二條ニ掲載シタル犯罪ヲ援助或ハ傍看

スルニ就テハ其兩條ニ定メタル規則ニ原キテ其兩

條ニ確定シタル罰ニ處セラレ可シ

第八百三十四條 防疫ノ法式ヲ減略シ或ハ全ク之ヲ

除去スルノ故意ヲ以テ證書ヲ贋造シ或ハ縱令他ノ

者が證書ヲ贋造シタルニモセヨ知テ其贋造證書ヲ

使用シ並ニ真正ノ證書ナリト雖モ他ノ者ノ證書ヲ
 使用スル罪人ハ左ノ罰ニ處セラル但シ疫病ノ熾盛
 ナル場所ヨリ其罪人ノ來着シタル場合ニ於テハ然
 リトス而シテ即チ其罪人ハ族權全部ノ剝奪及ヒ死
 刑ニ處セラル
 若シ縱令通信上傳染病ナシト雖モ平常或ハ年中疑
 念アル場所ノ列ニ算入セラル可キ場所ヨリ斯ノ如
 キ罪人ノ來着シタルキニハ族權全部ノ剝奪及ヒ六
 年ヨリ少カラス八年ヨリ多カラサル時間ノ製造場
 懲役ニ處セラル

己ノ船舶ガ疫病アル場所或ハ疑念アル場所ヨリ航
 來シタル他ノ船舶ト逢會シタルヲ隱蔽スルノ船長
 或ハ船官及ヒ船中ニ在リシ各人並ニ防疫所ヨリ渡
 シタル證書ニ對照シテ人數ノ過分或ハ不足ナルニ
 付キ故意ヲ以テ其真正ヲ隱蔽シ又ハ此過分或ハ不
 足ヲ生シタル真正ノ原因ヲモ亦故意ヲ以テ隱蔽シ
 又ハ其他人間及ヒ商品ノ景況ニ關シテ詐偽ヲ爲ス
 ノ船長或ハ船官及ヒ諸罪人ハ同上ノ主義ヲ以テ同
 上ノ罰ニ處セラル可シ

第八百三十五條 防疫ノ洗滌ヲ免レテ如何ナル所爲

ヲ以テスルニモセヨ防疫所或ハ防疫卒ヲ經ルヲナク竊ニ通過シテ自ラ安全ノ場所ニ入り又ハ洗滌ス可キ人間獸類或ハ物品ヲ洗滌セシテ之ヲ安全ノ場所ニ運送スル者ハ左ノ規則ニ原キテ罰ニ處セラ

第一 若シ其者或ハ其者ノ軍艦又ハ運送船ハ疫病ノ熾盛ナル場所ヨリ出タルハ族權全部ノ剝奪及ヒ死刑ニ處セラレ
第二 若シ其者或ハ其者ノ軍艦又ハ運送船疑念アル場所ヨリ出タルハ族權全部ノ剝奪及ヒ六箇

月ヨリ少カラス八箇月ヨリ多カラサル時間ノ製造場懲役ニ處セラレ

第三 若シ其者或ハ其者ノ軍艦或ハ運送船ハ安全ノ場所ヨリ出タリト雖モ途中ニ於テ疫病アル船舶或ハ疑念アル船舶ト逢會シタルハ族權全部ノ剝奪及ヒ西比利謫所ノ放流ニ處セラレ

第八百三十六條 若シ防疫線ヲ設ケタル場所ニ於テ漁父渡守並ニ濱岸及ヒ境界ノ居民或ハ該處ニ偶々在ル者濱岸ニ投出シタル物品或ハ濱岸ニ到着シタル小舟帆船及ヒ其他ノ棹船ヲ取り又ハ疫病アル場

所疑念アル場所又ハ承知ナキ場所ヨリ航行シテ己
 レト逢會シタル船舶ヨリ物品及ヒ商品ヲ受ルルハ
 族權全部ノ剝奪及ヒ西北利謫所ノ放流ニ處セラレ
 然レモ魯國境界ニ傳染病ノ近ヅクニ依リ政府ヨリ
 明白ノ所爲ヲ以テ其傳染病ノ侵入ニ對スル特別ノ
 豫防方法ヲ命定シタル時ニ於テ斯ノ如キ犯罪ヲ爲
 スルハ族權全部ノ剝奪及ヒ四箇月ヨリ少カラス六
 箇月ヨリ多カラサル時間ノ製造場懲役ニ處セラレ
 第八百三十七條 封鎖場ニ於テ防疫監視ノ下ニ在ル
 者等ハ互ニ秘密ノ交通ヲ爲スニ就キ更ニ防疫期限

ヲ繼クノ後三日ヨリ少カラス七日ヨリ多カラサル
 時間ノ拘留ニ處セラレ

第八百三十八條 防疫線内或ハ封鎖線内ニ入レラレ
 タル衣服或ハ古切ヲ商賣スルノ禁止アリシ後ニ之
 ヲ商賣スルヲ證徴セラレタル者ハ同上ノ主義ヲ以
 テ同上ノ罰ニ處セラレ可シ

第八百三十九條 各種ノ洗滌期限ヲ受ル者等ハ縱令
 只不戒慎ノミニ由ルト雖モ防疫所或ハ防疫港ノ内
 部ニ於テ互ニ交通ヲ爲スニ就キ更ニ防疫期限ヲ繼
 クノ後事ノ情實ニ依リ三十ル―ブル以下ノ贖金或

ハ七日ヨリ少カラス三週間ヨリ多カラサル時間ハ
拘留ニ處セラレ或ハ若シ其者法律上施体刑ヲ免レ
サルモハ七日ヨリ少カラス三週間ヨリ多カラサ
ル時間防疫所ニ關スル僕隸ノ職務或ハ勞役ニ使用
セラル

第八百四十條 疫病アル場合ニ於テ封鎖サレタル場
所ノ近傍即チ防疫廳ヨリ決定セラル、線内ニ在ル
客亭旅館及ヒ之ニ類スル家館ノ主人ハ全ク洗滌ヲ
受ケタル證書即チ地方官廳ヨリノ緊要ナル證書ヲ
クシテ封鎖サレタル場所ヨリ來着シタル者ヲ己カ

家館ノ居所或ハ寢所ニ入ラシムルニ就テハ此刑法
第五十條ニ依リ特權幾分ノ剝奪ヲ以テ一年四箇月
ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間懲治舍内ノ

禁錮ニ處セラル

第八百四十一條 若シ官廳ノ允許ヲ得テ防疫所ニ入
リ以テ疫病或ハ疑念アル人間或ハ物品ニ觸ル、者
又ハ官廳ノ允許ヲク防疫所ノ外部ヨリ其内部ニ入
ル者或ハ防疫船ニ入ル者アルモハ三週間ヨリ少カ
ラス三箇月ヨリ多カラサル時間ノ拘留ニ處セラル
然レモ其拘留ノ前ニ其者ハ通規ニ原キテ防疫ノ洗

滌ニ處セララル可シ
 若シ其人或ハ物品又ハ船舶只檢視中ニシミ在リシ
 時ニ是等ト交通スルノ罪人ハ七日ヨリ少カラス三
 週間ヨリ多カラサル時間ノ拘留ニ處セララル
 然レモ其拘留ノ前ニ緊要ノ檢視ニ處セララル可シ
 第八百四十二條 防疫線或ハ封鎖場ニ於テ傳染モセ
 ス洗滌ヲモセサリシ船舶物品人間及ヒ獸類アリシ
 時ニ於テ防疫規則ノ輕犯ヲ爲セシ者ハ前文第八百
 三十九條ニ定メタル規則ニ原キテ其條ニ確定シタ
 ル罰ニ處セララル

第八百四十三條 防疫上ノ犯罪ニ加與スル者ハ其犯
 罪ヲ助援スル者ト同一ノ罰ニ處セララル但シ斯ノ如
 キ犯罪ヲ爲ス前ニ其犯罪ノ豫謀アルヲ上告シテ速
 ニ之ヲ豫防セシメタルカ故ニ諸罰ヲ免ル、者ヲ除
 クノ外ナリトス而シテ自己ノ發心及ヒ悔悟ニ由テ
 犯罪ヲ爲ス時或ハ縱令犯罪ヲ遂ケシ後ト雖モ其犯
 罪ノ事ヲ上告スル者ニハ其罰ヲ確定スルニ此刑法
 第三百三十四條第三百三十五條及ヒ第五百十三條ニ揭
 載シタル規則ニ原キテ輕減アル可シ
 第八百四十四條 封鎖サレタル場所ニ於テ病者トナ

リシ者ノ事ヲ緊要ノ時ニ上告ス可クシテ上告セサル者又ハ濱岸ニ投出シタル物品及ヒ死体ニ自ラ觸レ或ハ濱岸ニ到着シタル輕艇帆船棹舟ニ自ラ觸レ又ハ他ノ者カ是等ノ物件ニ觸ル、ヲ見又ハ或ル者カ其逢會シタル船舶或ハ荷車ヨリ物品ヲ受收セシトヲ見テ其逐一ノ事ヲ最近ノ防疫廳或ハ防疫隊ニ告知セサル者又ハ境外ヨリ來リ防疫隊ニ對シテ潛匿シタル者アルヲ了知シ或ハ其潛匿セシ者ト交通シタル者アルヲ了知シテ其事ヲ最近ノ防疫所或ハ關門又ハ防疫隊ニ告知セサル者ハ四箇月ヨリ少カ

ラス八箇月ヨリ多カラサル時間ノ禁錮ニ處セララル
 第八百四十五條 縱令緊要ノ洗滌及ヒ檢視ノ後ト雖モ其地方官廳ヨリ渡ス所ノ證書ナクシテ防疫所或ハ封鎖場ヨリ出ルニ就テハ「十」ル「卜」ブル以下ノ贖金ニ處セララル

若シ又緊要ノ洗滌或ハ檢視ノ後ト雖モ證書ナクシテ荷車或ハ船舶ノ防疫所或ハ封鎖場ヨリ出ルキハ之カ爲メニ其車長或ハ船長ノミ責ニ任シテ百「ル」ブル以下ノ贖金ニ處セララル

第八百四十六條 防疫監視ノ下ニ在ル者ハ彼ノ疫病

ヲ止絶スル爲メニ使用セラル、防疫所及ヒ其他ノ
 官吏及ヒ番卒ニ服従セサルニ就キ族權全部ノ剝奪
 及ヒ西比利謫所ノ放流ニ處セラレ
 第八百四十七條 防疫所或ハ封鎖場ヲ統理スル者ハ
 防疫線或ハ封鎖場ヨリ出ルノ記印或ハ證書ヲ受ク
 可キ者ノ健康ナルヲ防疫規則ニ依リ信認セスシテ
 斯ノ如キ記印或ハ證書ヲ渡スニ就テハ前文第八百
 三十二條ニ定メタル規則ニ原キテ其條ニ確定シタ
 ル罰ニ處セラレ

第八百四十八條 防疫所ニ居住ス可キ期限ニ關スル

規則ヲ遵守セシムルノ監視ヲ情リ並ニ防疫所或ハ
 封鎖場ニ生シタル病症ノ報告或ハ他ノ場所ヨリ得
 タル危殆ノ報告ヲ秘密ニセサル防疫所及ヒ封鎖場
 ノ官吏或ハ小吏ハ免職或ハ除官及ヒ四箇月ヨリ少
 カラス八箇月ヨリ多カラサル時間ノ禁獄ニ處セラ
 ル

第八百四十九條 防疫所ノ官吏ハ防疫規則ノ違犯ト

附着セサリシ職務上ノ不注意及ヒ怠慢ヲ爲シ並ニ
 防疫所ニ入リシ者ト不適當ノ交際ヲ爲スヲ初度及
 ヒ再度ニ於テハ通規ニ原キテ此刑法第四百十條ニ

確定シタル罰ニ處セララル三度ニ於テハ免職ニ處セラレ且更ニ防疫所ノ管轄ニ奉職スルヲ禁止セララル可シ

第八百五十條 若シ地方警察官吏ハ疫病ノ現出スル場合ニ於テ其疫病ヲ根絶スル爲メニ定メタル方策ヲ取用セス或ハ疫病ノ出現シタル事ヲ定則ニ依テ己ノ官廳ニ告知セサルキハ事ノ情實ニ依リ免職或ハ除官又ハ族權全部ノ剝奪及ヒ西比利謫所以放流ニ處セララル

第八百五十一條 防疫ノ景狀ニ在ル所ノ船舶或ハ小

舟ハ碇泊場或ハ防疫灣ニ在ル歟又ハ一所ヨリ他所ニ轉移スル時ニ故意ヲ以テ他ノ船舶ニ觸レ又ハ防疫所或ハ防疫港ニ在ル所ノ人ハ彼ノ防疫監視ノ下ニ全ク在ラサルカ或ハ其監視ト共ニ各種ノ洗滌期限アル人或ハ物品ニ故意ヲ以テ觸ル、者ハ防疫規則ノ違犯ニ就テ確定シタル罰ニ處セララル、外此刑法第五十九條ニ原キ之カ爲メニ蒙ラシメタル總テノ損失ヲ返償ス可シ

第八百五十二條 若シ防疫所ヨリ船舶或ハ荷車ヲ放出センカ爲メ之ヲ檢視スルニ方リ彼ノ傳染病ヲ感

ス可キ商品或ハ物品ノ未タ曾テ發露セラレサリシ
モノヲ發露スルルキハ更ニ十分ノ方策ヲ以テ其船舶
或ハ荷車ノ防疫洗滌ヲ始ム而シテ其商品或ハ物品
ヲ故ラニ隱藏スルノ罪人ハ前文第八百三十二條ニ
確定シタル罰ニ處セララル

第八百五十三條 千八百七十二年間ニ廢止ス

第八百五十四條 己カ傳染病ニ肩サレタルヲ知り故
意ヲ以テ他ノ者ニ其病ノ必ス傳染ス可キ事ヲ爲ス
者ハ二箇月ヨリ少カラス四箇月ヨリ多カラサル時
間懲治舍内ノ禁錮ニ處セララル

之ニ加フルニ其者ハ傳染サレタル者ノ治療ニ關ス
ル諸入費ヲ之ニ返償セサル可ラス
然レモ若シ遂ニ其傳染病ヲ遷サレタル者ガ健康ニ
恢復シ難ク又ハ死去スルニ至ルルキハ第千四百八十
六條及ヒ第千四百八十八條ニ確定シタル罰ニ處セ
ラル

第八百五十五條 若シ婦女己レニ傳染病或ハ其他ノ
有害病アルヲ知リテ之ヲ隱秘シ或ハ此事ヲ默止シ
テ乳母或ハ傅女トナルルキニ其婦女ハ證徴セラレシ
後其病ノ種類及ヒ事ノ情實ニ依リ三週間ヨリ少カ

ラス三箇月ヨリ多カラサル時間ノ拘留或ハ二箇月ヨリ少カラス八箇月ヨリ多カラサル時間懲治舎内ノ禁錮ニ處セラル

第八百五十六條 若シ地方警察官ハ其管下ノ地方ニ現出シタル流行病或ハ傳染病ニ關スル報告ヲ得タリト雖モ其病ノ蔓延ヲ止絶或ハ防禦スル爲メニ法律ヲ以テ定メタル方策ヲ取用セス及ビ其事ヲ所轄ノ官廳ニ告知セサルハ其怠慢アル警察官ハ罪科ノ輕重ニ依リ六箇月或ハ一箇年在職時間ノ減殺或ハ免職又ハ此刑法第五十條ニ原キ特權幾分ノ剝奪

ヲ以テ八箇月ヨリ少カラス一年四箇月ヨリ多カラサル時間懲治舎内ノ禁錮ニ處セラル

第八百五十七條 已レニ迄達シタル流行病或ハ傳染

病現出ノ報告ヲ速ニ地方ノ醫藥廳ニ告知セサル官

醫ハ前文第八百五十六條ニ確定シタル罰ニ處セラ

ル可シ

若シ又私醫ハ斯ノ如キ違則アルヲ以テ罰セラル

ハ初度ニ於テハ監察再度ニ於テハ十五「ル」ブル以

下ノ贖金三度ニ於テハ同上ノ贖金ニ處セララル

外爾後更ニ斯ノ如キ違則アルニ於テハ治療ヲ禁止

ス可シト云フノ嚴譴ヲ受ク可シ然レバ試案ニ據テ
若シ其醫師此後於テ斯ノ如キ犯法ナルヲ證徴セ
ラル、キハ治療ヲ永ク禁止セララル

第八百五十八條 若シ殊ニ危殆ナル流行病或ハ傳染
病ノ熾盛ナル時ニ於テ政府ヨリ其病ノ蔓延ニ對ス
ル豫防ノ方法ヲ取用或ハ命示シタルキ此場合ニ於
テ定メタル規則ヲ犯ス者ハ其時ニ於テ政府ヨリ定
ムル所ノ罰ニ處セララル

第八百六十一條 已レカ管下ノ地方ニ於テ現出シタ
ル家畜疫病ノ事ヲ知テ其事ヲ所轄ニ依テ上告ス可

キノ人ニ上告セス及ヒ法律ヲ以テ命示シタル豫防
ノ方法ヲ取用セサル村邑長並ニ警察官ハ左ノ罰ニ
處セララル即チ其甲タル村邑ハ三十ル、以下ノ
贖金其乙タル警察官ハ一箇月ヨリ少カラス六箇月
ヨリ多カラサル在職時間ノ減殺ニ處セララル
第八百六十二條 故意ヲ以テ他人ノ家畜ニ傳染病ヲ
遷スニ就テハ此刑法第六百二十三條ニ確定スル所
ノ罰ニ處セララル

第九百十五條 警察官吏及ヒ村邑ニ於テハ村邑長官
ハ禁制ノ時及ヒ禁制ノ地ニ於テ鳥獸ヲ獵獲スルヲ

止ムルノ方策ヲ取用セス及ヒ禁制ノ時ニ於テ獲タル野鳥ヲ賣買セシムルニ就テハ五「ル」以下ノ贖金ニ處セララル

第一千六百二十三條 故意ヲ以テ他ノ者ノ家畜ニ傳染病ヲ及ホス者又ハ他ノ者ノ家畜ニ食物ヲ送ル爲メニ或ル方略ヲ用フル者ハ若シ之レヨリシテ傳染病或ハ死疫病ノ果シテ傳播シタル場合ニ於テハ其傳播ノ爲メニ畏ラシメタル危殆ノ等級及ヒ其傳播ノ爲メニ蒙ラシメタル損害ノ輕重ニ依リ此刑法第五十條ニ依リ特權幾分ノ剝奪及ヒ八箇月ヨリ少カラ

ス二年ヨリ多カラサル時間懲治舎内ノ禁錮ニ處セララル
而シテ若シ其傳染病ノ傳播セサリシキニハ三週間ヨリ少カラス三箇月ヨリ多カラサル時間ノ拘留ニ處セララル

第一千六百二十四條 故意ヲ以テ他ノ者ノ家畜又ハ池魚及ヒ川魚ヲ毒殺スルニ就キ其罪人ハ二箇月ヨリ少カラス四箇月ヨリ多カラサル時間懲治舎内ノ禁錮或ハ三日ヨリ少カラス三箇月ヨリ多カラサル時間ノ拘留又ハ二十「ル」以下ノ贖金ニ處セララル

第一千六百二十五條 此章ノ前文數條ニ掲載シタル總
場合ニ於テ其罪人ハ確定ノ罰ニ處セラル、ソ外此
刑法第五十九條ニ原キテ已カ或ル者ニ蒙ラシメタ
ル損失ヲ返償ス可シ

○印度

第二百六十九條 危命傳染病ヲ流行セシムルニ至ル
可キ怠慢ノ所爲、怠慢ニ因テ知りナカラ危命ノ傳染
病ヲ流行セシムルノ所爲ヲ行フ者ハ六箇月ニ及フ
各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用

シテ之ヲ罰ス可シ

第二百七十條 惡意ヲ以テ危命ノ傳染病ヲ流行セシ
ムルノ所爲、其危命ノ傳染病ヲ流行セシムルニ至ル
ヲ知テ又ハ信スルノ理由ヲ有シテ惡意一所爲ヲ行
フ者ハ二年ニ及フ各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又
ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第二百七十一條 禁出入規則ニ違反ス、知りナカラ印
度政府又ハ其他ノ政府ノ制定頒布ニ係ル船ノ出入
ヲ禁スル規則船ノ海濱又ハ他船ト往來スルヲ禁ス
ルノ規則又ハ傳染病流行ノ地ト他ノ地ト往來スル

ヲ禁スルノ規則ニ違反スル者ハ六箇月ニ止ル各種
ヲ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ
之ヲ罰ス可シ

第四百二十八條 十リユロピ以上ノ一畜類或ハ數

畜類ヲ殺シ之ヲ毒害シ之ヲ傷殘シ之ヲ廢物トナス

者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ

入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第四百二十九條 價直ノ高下ヲ論セス象駱駝馬牛驢

及ヒ五十リユロピ以上ノ畜類ヲ殺シ之ヲ毒害シ

之ヲ傷殘シ之ヲ廢物トナス者ハ五年ニ止ル各種ノ

入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之

ヲ罰ス可シ

○墾地利 千八百五十二年五月二十七日布告

第三百九十三條 疫癘其他衆人ノ健全ヲ害傷ス可キ

諸種傳染病ヲ播傳シ來ルヲ防シ爲メ特別ノ豫防法

備ハルノ地方ニ於テハ某所業ノ犯爲放擲故意過誤

ニ出ルヲ間ス凡當然ノ理若クハ公然布達ノ旨ニ

本ツキ疫癘豫防方ニ悖リ或ハ疾病或ハ傳染ヲ爲ス

可キヲ知ラサル能ハサルキ尙ホ之ヲ犯ス者ハ輕

罪トス
但シ其處刑ハ凡這的ノ罪科ニ對スル普通條例及ヒ
各殊特別ノ規則中ニ就テ之ヲ判ス可シ

普通及ヒ特自條例トモ附錄第二編ニ之ヲ詳ニス

第三百九十四條 傳染病ニ罹リ死亡セシ者ノ所ニ於
テ検査官其什器ヲ見誤ルカ或ハ其什器ヲ全ク毀除
シ或ハ清掃ス可キ布令ヲ遵守セサルキハ之ヲ違式
罪トシ其情狀ノ輕重ニ應ジ三日以上一月以下ノ禁
獄ニ處ス可シ

維納府ニ於テハ傳染病ヲ以テ死亡セシ者ノ器具

掃滌ノ令ハ抑壓ノ法ニ係ルトシ已ニ千八百五十
七年之ヲ廢止シ疫癘傳染ノ時ハ唯醫ニ命シテ患
者需用セシ浴衣襦袢諸器具等家々ニ於テ善ク掃
除スルヲ注意セシムルノミ

第三百九十五條 看病人傭丁家屬等凡患者ノ什物ヲ
毀除或ハ掃除ス可キ任アル者該物ヲ陰匿スルキハ
違式罪トシ一月以上三月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ
第三百九十六條 已ニ毀除ス可キ令アリタル物品ヲ
看病卒故ヲ私藏スルカ或ハ賣却セシキハ之ヲ違
式罪トシ其情狀及ヒ危害ノ多少ニ應ジ一月以上三

月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ
第三百九十七條 凡前兩條ニ掲載セル物品ヲ狀ヲ知
テ買得スルカ或ハ收領スル者ハ違式罪トシ三日以
上一月以下ノ重禁獄ニ處ス可シ

第四百條 獸肉ヲ以テ調理スル諸種食料ニ關シテハ
左ノ條規モ亦須要ノモノトス
凡食獸病疫ニ罹リシキ其病獸ヲ獸醫ニ秘シ或ハ獸
疫流行ノ布告アリト雖モ死獸病獸健全獸ニ關スル
普通條例或ハ當世ノ景況ニ關シ臨時特別ノ取扱規
則ヲ遵守セサル者ハ違式罪トシ一月以上三月以下

ノ禁獄ニ處ス可シ

第四百一條 前條ノ刑ニ據テ處ス可キハ殊ニ左ノ如

キ者ニ係ルトス

(イ) 假令本地若クハ近傍ニ獸疫流行セスト雖モ適
々其所有獸ノ一箇内部ノ病症ヲ得シキ本區長へ
届ケ又一人ノ所有ニシテ數頭疾病ニ罹リシキ之
ヲ治病欄内ニ移シ數十日後全ク平狀ニ恢復シ得
ル迄ハ斯ニ治術ヲ施ス可シ此規則ヲ放擲シ置キ
或ハ其病獸ヲ爾他ノモノト混同セシメ又ハ新タ
ニ買入シ牛ヲ成規ノ検査ヲ請ケス密ガニ屠殺シ

テ自用妄リニ賣却セルカ或ハ又當時特別ノ規則ヲ遵守セサル者

(ロ) 獸疫流行ノ時ニ際シ陰密又ハ已ニ公然病疫ニ罹リタル牛肉、乳、乾酪、皮膜、脂肪其他凡牛體ノ部分ヲ(健全病疫屠殺死亡ノ牛ニ係ルヲ問ハス)不審ノ地方ヨリ買得又ハ陰買シテ傳染セサル地方ニ賣却又ハ自家需用ニ供スル者

(ハ) 獸疫傳染セル地方ニ於テ之ヲ其欄内ニ繫羈セハ數十日ヲ出テス其傳染セサル地へ塚ヲ越へ強テ獸類ヲ牽入レ或ハ改メテ請ケス密カニ屠殺セ

シ肉ヲ持來シ販賣スル者

(ニ) 一週間毎ニ凡二頭乃至三頭ノ獸疫癘ニ罹リシ

キ該區長放擲シテ之ヲ其地方廳へ届ケ出サルキ

第四百二條 家獸ノ疾病ヲ陰匿シ或ハ病獸規則ヲ遵

守セス因テ此害ヲ蔓延セシメシ者ハ其刑ヲ倍シ或

ハ情狀ニ從ヒ重禁獄ノ刑ヲ言渡サル可シ

○加利堡爾尼

第三百七十三條 凡傳染病舍若クハ沽遷病場及ヒ其醫院ヲ府邑村落ノ境内ニ設立保有シ若クハ設立保

有スルヲ致ス者ハ小罪ト爲ス

第三百七十六條 凡醫官ノ檢病來査ヲ經テ後桑港ニ

航入ス可キ船舶ノ長若シ左ノ各件ヲ不肯欠脱スル

者ハ一年以下ノ禁固若クハ二千元以下ノ罰金ヲ科

シ或ハ右二刑ヲ併科ス

第一 其始テ航入スル時當サニ檢病ノ信地ニ投錨

ス可シ

第二 其船舶船載船客ヲ醫官ノ檢査ニ供シ及ヒ其

醫官ヲシテ療病時間ノ長短ヲ定メ及ヒ之ヲ區處

スルニ某ノ規則ヲ以テス可キヲ決セシムル爲

メニ一切緊要ノ知告ヲ呈ス可シ

第三 檢病ノ爲メニ一定セル時限内ハ其船舶ヲ檢

病ノ信地ニ駐メ且檢病信地ニ駐マルノ間ハ必ス

法律所掲ノ規則ト其醫官ノ令スル所トヲ循守シ

テ其身及ヒ其船舶船載船客水夫ヲ處分ス可シ

第三百九十四條 凡沾遷傳染ノ病アル者若シ故ラニ

門外通衢ニ露出シ若クハ故ラニ這樣ノ病者ヲ縱ツ

テ這樣ノ地ニ露出セシムル者ハ事若シ止ムヲ得サ

ルノ轉移ニ出ルニ非ス且其行裝ヲ謹テ助テ路上ノ

傳染ヲ防クニ非サルヨリハ並ニ小罪ト爲ス

第六百三十條

凡「サンブアナ」郡及ヒ「ロス

エインゲェルス」郡ニハ毎年八月一日ヨリ四月一日

迄ノ間ニ於テ「ラツセン」郡「プリユマス」郡「シイラ」郡

ヲ除クノ外其他ノ諸郡ニハ毎年三月十五日ヨリ九

月十五日迄ノ間ニ於テ鶴鶉鷓鴣雉鳩水鴨夏鶩冠鶩

ヒ鴨若クハ各種ノ廣喙鴨ヲ獵獲殺死破壊スル者ハ

小罪ト爲ス

第六百三十一條

凡「ラツセン」郡「プリユマス」郡若クハ

「シライ」郡ニ於テ毎年三月十五日ヨリ九月十五日迄

ノ間ニ鶴鶉鷓鴣雉鳩ヲ獵獲殺死破壊スル者或ハ右

ノ各郡ニ於テ毎年三月十五日ヨリ八月十五日迄ノ

間ニ水鴨夏鶩冠鶩ヒ鴨及ヒ各種ノ廣喙鴨ヲ獵獲殺

死破壊スル者ハ小罪ト爲ス

第六百三十二條

凡毎年一月一日ヨリ七月一日迄ノ

間ニ各種ノ麋鹿羚羊ヲ獵獲殺死破壊スル者ハ小罪

ト爲ス

ヲ爲ス者懈怠ノ罪アルニ於テハ六月ヨリ少カラス
 二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ其囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサルニ於テハ六月
 ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ
 處セラル可シ
 囚徒ノ看守又ハ伴行ノ任ヲ受ケサル者其囚徒ヲシ
 テ逃亡ヲ得セシメ又ハ逃亡ヲ容易ナラシメタル時
 ハ六月ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮
 ノ刑ニ處セラル可シ

第二百三十九條 其逃亡シタル囚徒有期ノ施體ノ刑

ニ處ス可キ重罪ヲ訴ヘラレシ者又ハ既ニ其刑ヲ言
 渡セシシ者又ハ其時其看守又ハ伴行ヲ爲ス者懈怠ノ
 罪アル時於テハ三月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラ
 ル時間禁錮ノ刑ヲ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知
 テ捕獲セサル時於テハ囚徒刑場内ニ於テ使役スル刑
 ニ處シテ禁錮ノ刑ニ處ス可キ重罪ヲ訴ヘラレシ者又ハ既ニ其刑ヲ言
 渡セシシ者又ハ其時其看守又ハ伴行ヲ爲ス者囚徒ヲシテ
 逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ナラシメタル時於テハ三月ヨ
 リ少カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
 セラル可シ

第二百四十條

逃亡シタル囚徒死刑或ハ無期ノ刑ニ
 處ス可キ重罪ヲ訴ヘラレシ者又ハ既禁此刑言渡
 サレシ者タル時其看守又ハ伴行ヲ爲ス者懈怠以罪
 アルニ於テハ一年ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサ
 ル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知テ
 捕獲セサルニ於テハ有期囚徒刑ニ處モ或ハ可シ
 囚徒ヲ看守又ハ伴行以任テ受ケタル者囚徒ヲシテ
 逃亡ヲ得セシメ又ハ容易仕ラシメタル時ハ一年ヨ
 リ少カラズ五年ヨリ多カラサル時間禁錮刑ニ處
 セラル可シ重罪ヲ訴ヘラレシ者又ハ既禁此刑言渡

第二百四十一條

千八百六十三年五月
 十八日如左改メ
 囚徒ノ暴行ヲ以
 テ逃亡シ或ハ獄舎ヲ毀テ逃亡シタル時ハ其逃亡ヲ
 爲スニ用立タル器具ヲ貸シテ其逃亡ヲ助ケ者
 左ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ逃亡シタル囚徒第三百三十八條ニ記シタル場
 合中ノ者タルニ於テハ其器具ヲ貸シテ逃亡ヲ助ケ
 タル者三月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時間
 禁錮ノ刑ニ處セラレ又第三百三十九條ニ記シタル
 場合中ノ者タルニ於テハ一年ヨリ少カラズ四年ヨ
 リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ又第二百四

中條七記シタ規場答申ノ諸々記ニ於テ又三年百罰
 少功ヲ又五年ヨリ多カラサシ時間禁錮ヲ刑四處モ
 与ル且五十罰ヲシク石罰少功ヲ又立テテラ罰シク
 多功ヲ付ル罰金ヲ言渡テ可シ
 但シ逃亡シタル囚徒第三百四十條ニ記シタル場合
 中シ者タルニ於テ其器具ヲ貸及給逃亡ヲ助ケ
 者其刑ニ處セラシ目ヨリ五年ヨリ少カラス十年
 ヨリ多功ヲ付サル時間第四十二條ニ記シタル權利ヲ
 行フ少禁受賜命ト規場答申得可シ
 其罰ハ其罰
 第二百四十三條 前ニ記シタル何レ以場合ニ於テモ

其囚徒ノ看守人或ハ獄監ニ賄賂ヲ遺リ又ハ看守人
 或ハ獄監ト相謀リ囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ
 容易ナラシメタル者ハ其看守人或ハ獄監ト同一ノ
 刑ニ處セラレ可シ

第二百四十三條 囚徒ニ兵器ヲ貸渡シ其獄舎ヲ毀キ
 又ハ暴行ヲ爲シテ逃亡スルヲ助ケタル時ハ其兵器
 ヲ貸渡スコトニ加ハリシ看守人或ハ伴行人ハ無期ノ
 徒刑ニ處セラレ其他ノ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラレ
 可シ

第二百四十四條 囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサル者ハ

其囚徒ヨリ損失ノ償ヲ得可キ權アル者ニ對シ相連
帶シテ其償額ヲ出ス可キノ言渡ヲ受ク可シ

第二百四十五條 獄舎ヲ毀テ又ハ暴行ヲ爲シテ逃亡

シ又ハ逃亡セント試ミ爲シタル囚徒ハ其所行ノミ

ヲ以テ六月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間

禁錮ノ刑ノ言渡ヲ受ク可シ且其囚徒ハ前犯ノ重輕

罪ニ付キ處セラレタル刑期ノ終リシ後直チニ此刑

ヲ受ケ又ハ其訴ヘラレシ輕重罪ヲ宥恕スル裁判言

渡ヲ受ケシ後直チニ此刑ヲ受ク可シ但シ此規則ト

其囚徒ノ暴行ヲ爲シテ逃亡シタル時犯シタル他ノ

重罪ノ爲メ更ニ重キ刑ニ處ス可キ規則ト相觸ル、

コナカル可シ

第二百四十六條 囚徒ノ逃亡ヲ助ケ又ハ囚徒ノ逃亡

セント爲ス謀試ヲ助ケタルニ因リ六月以上ノ時間

禁錮ノ刑ニ處セラレシ者ハ五年ヨリ少カラス十年

ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ケシムルコトヲ

得可シ

第二百四十七條 若シ其囚徒逃亡ノ時ヨリ四月内ニ

其逃亡後ニ他ノ犯罪ヲ逮捕ヲ受ケ又ハ自訴シタ

ル時ハ嘗テ懈怠ノ罪ヲ犯セシ其伴行者又ハ看守者

禁錮ノ刑ヲ免カル可シ
 第三十四十八條 施體ノ刑ニ處セラル可キ重罪ヲ犯
 若シテ四年ヲ知ル其犯人ヲ隱匿シ又ハ隱匿セシメシ者
 於三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮
 ノ刑ニ處セラル可シ
 若シ隱匿シタル者犯人ヲ尊屬ノ親及ヒ卑屬ノ親又
 ハ既ニ離婚シタルニ管セシ其配偶者兄弟姉妹又ハ
 同止ノ級ノ姻族ノ親ナシ時ハ前條ノ規則ノ例外ナ
 リトス(上卷第十六正犯 從犯ノ部見合)
 重罪ノ人ニ對シテ重キ罪ニ處スルヲ禁錮ノ刑ニ處スル

○獨逸

第一百二十條 故ヲ禁獄内ノ囚人ヲ解放シ又其囚人ヲ
 軍隊及ヒ官吏又ハ監察護送看守者ノ手ヨリ逃亡セ
 シ又囚人自ラ逃亡セシトスルヲ故ヲニ助成禁獄
 者ハ三年ヨリ長カラサル禁獄ニ處シ之ヲ犯シ
 又セシ所業害亦刑ニ處ス可シ
 第一百二十三條 囚人ヲ監察又護送スルノ任ヲ受テ來
 ル者其囚ヲ故ヲニ逃亡セシメ又囚ヲシテ逃亡ヲ得
 ゼシメタル者ハ三年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可
 シ

疎虞懈怠ニ因テ其逃亡ヲ容易ニ爲サシメタル者ハ
 三月ヨリ長カラサル禁獄又百タルルヨリ多カラ
 サル罰金ニ處ス可シ
 第二百二十三條 囚人徒黨ヲ爲シ且多勢ニテ獄場官吏
 又ハ其監察官ヲ襲ヒ或ハ官吏ニ抗拒シ又ハ強制ヲ
 以テ或ル事ヲ爲サシメ又之ヲ廢止セシメシメ企テ
 タル者ハ暴動ノ罪トナシ六月ヨリ短カラサル禁獄
 ニ處ス可シ
 囚人徒黨ヲナシ且多勢ニテ暴行ヲ以テ逃亡ヲ企テ
 タル者ハ同刑ニ處ス可シ

其場所ノ官吏及ヒ監察官ニ對シ暴行ヲ爲シタル者
 ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ處シ其餘政府ハ監察
 ニ付ス可シ得可シ

第三百四十七條 官吏自カラ看守護送照管ス可ク委
 托サレタル囚人ヲ故ラニ逃亡セシメ又ハ其逃亡ヲ
 取扱ヒ又ハ之ヲ得セシメタル者ハ五年ヨリ長カラ
 サル禁獄ニ處シ若シ酌量輕減アルルハ一月ヨリ短
 カラサル禁獄ニ處ス可シ
 若シ巔忽懈怠ニヨリテ其逃亡ヲ得セシメ又ハ容易
 ナラシメタル者ハ六月ヨリ短カラサル禁獄或ハ二

百「タ」レ「ル」ニ至ル罰金ヲ處テ可シ
○白耳義

第三百三十二條 凡罪囚逃亡スルヲ以テ其監守タ

第三百三十三條 凡輕罪ノ首謀其被告人或英軍俘

第三百三十四條 凡重罪首謀或ハ其被告人或ハ外國

政府ニ引渡テ可キ罪囚逃亡シ覺ラサ如ク者ハ十五

第三百三十五條 凡監主ニ非サル外人ニシテ囚人ニ

逃亡シ便ヲ與フル者ハ第三百三十三條ノ罪囚タ

罪囚ノ尊族或ハ卑族ニ親其夫妻離縁スル者ト雖モ

兄弟姉妹若シハ同級以外戚タル者其罪囚トシテ逃

亡ノ方法ヲ得セシムル者ハ論スル勿レ

夫妻兄弟姉妹等以上ニ枚舉セル親族ト同級ノ外ニ親戚ヲ云フ即チ婚姻養子等ニテ得タル親戚ナリ

第三百三十六條 凡獄囚強暴脅迫若クハ破獄シテ逃

走セントスル者ハ成否ヲ論ズ其暴行ニ便スルノ

具ヲ得セシムル者ヲ罰スル左ノ如シ

若シ第三百三十三條ノ罪囚タレハ監守ハ二年ヨリ

五年迄ノ獄ニ處シ外人ハ三月ヨリ二年迄ノ獄ニ處

ス可シ

第三百三十四條 罪囚タレハ監守ハ監役外人ハ六

月ヨリ三年迄ノ獄ニ處ス可シ

第三百三十七條 凡獄囚強暴脅迫若クハ破獄シテ逃

走セントセハ成否ヲ論セス其暴行ニ便スル兇器ヲ

獄囚ニ授クル者ヲ罰スル左ノ如シ

第三百三十三條ノ罪囚タレハ監守ハ監役外人ハ二

年ヨリ五年迄ノ獄ニ處ス可シ

第三百三十四條ノ罪囚タレハ監守ハ十年ヨリ十五

年迄ノ懲役ニ外人ハ監役ニ處ス可シ

第三百三十八條 凡警察ヲ受クル者第三十五條ノ法

ニ違フアレハ八日ヨリ一年迄ノ獄ニ處ス可シ

第三百三十九條 凡重罪首謀已ニ斷決スル者若クハ

追捕サル、者ヲ情ヲ知テ隱匿シ又ハ隱匿セシムル

者ハ八日ヨリ二年迄ノ獄ニ處シ二十六フランクヨ
リ五百フランク迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百四十條 凡殺害セララル、者若クハ毆傷ニ因テ
死ニ至ル者ノ遺骸ヲ隱匿シ或ハ隱匿セシムル者ハ
三月ヨリ二年迄ノ獄ニ處シ五十フランクヨリ六百
「フランク」迄ノ罰金ヲ命ス可シ

第三百四十一條 凡尊族卑族ノ親夫妻離縁セル者ト
雖モ兄弟姉妹及ヒ同級ノ戚族ニシテ前條ニ掲載セ
ル人命犯罪ノ首從若クハ毆傷ノ首從ヲ隱匿スル者
ハ論スル勿レ

第二百六十六條 凡重輕罪ノ警戒鎮撫追捕ニ任スル
官吏タル者反テ其重輕罪ニ與ミスル者ハ本犯ト同
科ニ處ス可ク其獄ニ該ル者ハ至輕ガ一倍ス至輕ハ
日之ヲ一倍ス
即チ五十二日
其監役禁錮及ヒ有期懲役ニ該ル者ハ其至輕ニ二年
ヲ加フ

○埃及

第四百十六條 有期ノ刑ヲ言渡サレシ者其獄舍ヲ逃
亡シ又ハ此獄舍ヨリ彼獄舍ニ移ス途中逃亡シタル

時ハ其嘗テ獄ニ繫カレシ刑期ノ半ハニ當レル刑ニ處セラル可シ

第四百十七條 有期ノ追放ノ刑ニ處セラレシ者ノ逃

亡シタル時ハ獄舍内ニ於テ嘗テ受ケタル刑ノ殘餘

ト逃亡ノ爲メノ刑トヲ受ク可シ

無期ノ追放ノ刑ニ處セラレシ者ノ逃亡シタル時ハ

無期ノ繫獄ノ刑ニ處セラル可シ

無期ノ繫獄ノ刑ニ處セラレシ者ノ逃亡シタル時ハ

無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第四百十八條 豫防ノ爲メ逮捕セラレシ者ノ逃亡シ

タル時ハ其者ヲ引出狀又ハ拘留狀ヲ受ケタルト否

トヲ問ハズ六月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル

時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ其刑ハ右逮捕ノ

原因タル輕重罪ニ付テノ刑ト互ニ消殺スルヲ得可

ラス又其刑期ハ右輕重罪ニ付テノ刑期ノ終リシ日

ヨリ之ヲ算ヘ或ハ保證人ヲ立テ假ニ自由ヲ得セシ

メ又ハ無罪及ヒ釋放ノ言渡ヲ爲シタルニ因リ豫防

ノ爲メノ逮捕ヲ止メタル日ヨリ之ヲ算フ可シ

第四百十九條 犯人ノ監守人ニ非サル者犯者ヲシテ

逃亡ヲ得セシメ又ハ逃亡ヲ容易サラシメタル時ハ

一週ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
 刑ニ處セラル可シ
 第五百十條 犯人ノ監守ヲ任セラレタル者ハ否ヲ問ハ
 ス犯人ノ逃亡ヲ助ケル爲メ兵器又ハ人ニ暴行ヲ加
 フルニ適スル器具ヲ貸與シタル者ハ有期ノ徒刑ニ
 處セラル可シ
 第五百十一條 犯人ノ監守ヲ任セラレシ者金額又ハ
 其他ノ贈物ヲ受ケ又ハ特別ノ約束ニ因リ犯者ニ逃
 亡ヲ得セシメタル時其犯人ノ罪死刑無期ノ徒刑無
 期ノ繫獄ノ刑ニ處セラル可キモノタルニ於テハ其

監守人其受ケタル金高ニ倍スル罰金ヲ言渡サレ且
 有期ノ徒刑ニ處セラル可シ
 又犯人ノ罪前ニ記スル所ヨリ更ニ輕キモノタル時
 ハ其監守人納賄ノ刑ニ處セラル可シ但シ其刑ハ賄
 賂ヲ贈リ又ハ約束ヲ爲セシ者ヲ處ス可キ刑ト同一
 タル可シ
 第五百十二條 何人ニ限ラズ重罪犯人ノ逃亡シタル
 ナ知リ又ハ其處刑ヲ遁レシヲ知リ之ヲ隱匿シタル
 者或ハ裁判所ヨリ重罪被告人ヲ捕獲ス可キ命令ヲ
 ルヲ知リ之ヲ隱匿シタル者ハ六月ヨリ少カラス二

年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
 犯人ノ尊屬又ハ卑屬親其配偶者兄弟姉妹及之
 同級ノ姻屬ノ親ハ此限ニ非ズ
 若シ輕罪ノ犯人又ハ輕罪被告人ヲ隱匿シタル時ハ
 一月ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
 刑ニ處セラル可シ
 ○英吉利
 凡謀反大逆重罪等ヲ犯ス所ノ罪囚獄舍ヲ破壊シテ逃
 走スル者ハ五年ヨリ七年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二

年ニ止ル入獄ニ處ス若クハ苦役隘牢打背罪ヲ本罪
 ニ加ヘテ處斷ス
 若シ輕罪ノ罪囚鎖閉セラル、所ヨリ破壊シテ逃走
 スル者ハ第一等ノ輕罪ニ坐シ贖罪及ヒ入獄ニ處斷
 ス
 若シ徒罪ノ囚其年限内ニ於テ逃走スル者ハ先ツ四
 年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加ヘ後終身ノ徒
 罪ニ處ス或ハ二年ニ止ル入獄若クハ苦役ヲ加フ
 凡獄吏ノ事務ヲ怠惰シ因テ獄囚ヲ在逃セシムル者ハ
 贖罪ニ處斷ス如シ止メ捕獲シテ未タ入獄セサル者

ヲ在逃セシムル者モ罪亦同シ
 若シ故ヲ囚犯ヲ縱容シテ在逃セシムル者ハ囚犯
 ノ罪ト同シ止タ本犯ノ已ニ決罪セラレテ待テ後
 其罪ニ同ク處斷ス可シ
 若シ常人ノ罪犯ヲ捕獲シ未タ捕吏ニ送遞セサル前
 ニ逃遁セシムル者モ罪亦同シ

凡謀殺ヲ犯ス所ノ罪囚ヲ獄内刑場若クハ中途ヨリ劫
 奪スル者ハ並ニ未タ全ク得スト雖モ重罪ニ坐シ五
 年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄
 ニ處ス若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ

若シ軍中ノ獲囚ヲシテ逃走スルヲ得セシムル者
 モ亦同シ

若シ重罪ニ該ル罪囚ヲ劫奪スル者ハ同ク重罪ニ坐
 シ五年ヨリ七年ニ止ル所ノ徒罪ニ處シ或ハ一年ヨ
 リ三年ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ徒罪ニ該ル罪囚ヲ護送スル途中ニ於テ之ヲ劫
 奪シ或ハ未タ全ク奪去セスト雖モ重罪ニ坐シ四年
 ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加ヘ終身ノ徒罪ニ
 處斷ス或ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加

フ

若シ囚犯ノ逃走セントスルヲ助力シ或ハ逃走スル
ヲナ助ク可キ器物ヲ囚ニ與フル者ハ重罪ニ坐シ二
年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

凡財物ヲ受ケ因テ事主ノ爲メニ其盜マル、所ノ贓物
ヲ搜索スル後其本犯ヲ訪究シ官司ニ告知捕致セサ
ル者ハ重罪ニ坐シ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦
役隘牢ヲ加ヘ或ハ五年ヨリ七年ニ止ル徒罪ニ處斷
ス如シ男子年十六以下ノ者犯スルハ更ニ打背罪ヲ
加フ但タ判事ノ適意ニ依テ處斷ス

凡捕獲ス可キ官吏重罪ヲ犯ス所ノ罪人ヲ見テ捕獲
セス隱匿スル者ハ重罪ヲ輕侮スルノ罪ニ坐シ一年
一日ノ入獄ニ處斷ス

若シ平人之ヲ見テ官司ニ告ケス隱匿スル者ハ一年
ニ過サル入獄ニ處シ及ヒ判事ノ適意ニ依テ贖罪ニ
處斷ス

凡重罪ヲ犯シテ囚獄セララル、罪犯ニ獄ヲ破壊ス可キ
器械ヲ與ヘ在逃セシメントスル者ハ重罪ノ從ヲ以
テ論ス其尋常ノ衣物等ヲ與フル者ハ論セス
若シ獄吏ニ賄賂ヲ送リテ在逃セシメントスル者モ
亦重罪ノ從ヲ以テ論ス

凡人ヲ毆殺スル罪犯ヲ隱匿スレハ其傷セラレ、人已ニ傷殘ヲ經ル後ニアリテ未タ死亡セサル前ニ附從スレハ毆殺ノ從ヲ以テ論スルヲ許サス

○印度

第二百十二條 其罪犯タルヲ知り又ハ信スルノ理由ヲ有シ之ヲシテ刑ヲ免レシムルノ目的ヲ以テ人ヲ容隱シ其罪死刑ニ處ス可キ者ナレハ五年ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處ス可シ其罪終身流若クハ十年ニ至ル入獄ニ處ス可キ時ハ其罪ヲ罰ス可キ入獄

最永期ノ四分之一其罪ヲ罰ス可キ種類ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ
例外 夫婦互ニ相容隱スルハ此例ヲ用ヒス

第二百十三條 罪ヲ隱匿シ或ハ刑ヲ免レシメ或ハ刑ニ致スノ處分ヲ爲サ、ルノ賠償トシテ自己又ハ他人ノ爲メニ贈與或ハ自己又ハ他人ニ於ル財物ノ復還ヲ受ケ又ハ受ケント聽許スル者ハ其隱匿スル所ノ犯罪死ニ當ルキハ七年ニ及フ各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處シ其罪終身流若クハ十年ニ及フノ入獄ニ該ルキハ三年ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處ス可シ

其罪十年ニ及ハサル入獄ニ該ルキハ其罪ヲ處ス可
キ種類ノ入獄最永期ノ四分一ニ止ル入獄若クハ贖
金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ一
千八百七十年決議第二十七條第二條ヲ見ヨ

第二百十四條 罪ヲ蔽庇スルノ賠償トシテ財物ヲ贈
與又ハ復還シ或ハ之ヲ贈與又ハ復還セシメ或ハ之
ヲ贈與又ハ復還セント約スル者ハ其罪死ヲ以テ罰
ス可キキハ七年ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處ス
可シ其罪終身流ニ該ルキハ三年ニ止ル各種ノ入獄
及ヒ贖金ニ處シ其罪十年ニ及ハサル入獄ニ該ルキ

ハ其罪ヲ處ス可キ入獄最永期ノ四分一其罪ヲ處ス
可キ種類ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ
兩用シテ之ヲ罰ス可シ一千八百七十年決議第二十
七條第二條ヲ見ヨ

例外 二百十三條及ヒ二百十四條ハ犯罪ノ所爲犯
罪者ノ意ニ關係セス而シテ被害者ノ民事ニ於テ
訴訟ス可キ事ニ及ハス

第二百十六條 其逃亡者又ハ脱監者タルヲ知り脱監
又ハ逃亡ノ罪犯ヲ容止スル者ハ其容止スル罪人ノ
所犯死刑ニ該ルキハ七年ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖

金ニ處ス其所犯終身流若クハ十年ノ入獄ニ該ルキ
ハ三年ニ止ル各種ノ入獄ニ處シ情ニ依リ贖金ヲ加
フ其所犯一年ニ止ル入獄ニ該ルキハ其所犯ヲ罰ス
可キ種類ノ入獄最永期四分一ニ止ル入獄若クハ贖
金ニ處シ又ハ贖金入獄ヲ併用シテ之ヲ罰ス可シ一
千八百七十年決議第二十七第二條ヲ見ヨ
例外 夫婦互ニ相容止スルハ此限ニ在ラス

第二百二十一條 官吏法ニ於テ罪犯ヲ逮捕監禁スル
ノ責アリ而シテ故意罪犯ヲ逮捕又ハ監禁セス或ハ
其脫監逃走スルヲ縱ルシ又ハ助クル者ハ左ノ刑ニ

處ス可シ一千八百七十年決議第二十七第二條ヲ見

ヨ

監禁ヲ受クル人或ハ逮捕セラル可キ人死罪ヲ以テ
告ケラレ死刑ヲ以テ逮捕セラル可キキハ三年ニ止
ル各種ノ入獄ニ處シ情ニ依テ贖金ヲ加フ

第二百二十二條 官吏法ニ於テ一罪ヲ犯スノ故ニ裁

判ヲ經タル人ヲ逮捕監禁スルノ責アリ而シテ故ヲ
ニ如此人ヲ逮捕セス又ハ脫監逃亡スルヲ縱ルシ又
ハ助クル者ハ左ノ刑ニ處ス可シ一千八百七十年決
議第二十七第二條及ヒ第八條ヲ見ヨ

監禁ヲ受ケタル人或ハ逮捕セララル可キ人死刑ヲ斷
 セラレタル時ハ終身流若クハ十四年ニ及フ各種ノ
 入獄ニ處ス
 監禁ヲ受ケタル人或ハ逮捕セララル可キ人裁斷又ハ
 輕減ノ裁斷ヲ以テ終身流若クハ十年以上ノ流徒入
 獄ニ擬セラレタルルキハ贖金ヲ加ヘ或ハ贖金ヲ加ヘ
 ス七年ニ及フ各種ノ入獄ニ處ス
 監禁ヲ受ケタル人或ハ逮捕セララル可キ人裁斷又ハ
 裁斷ヲ輕減シテ十年ニ及ハサル入獄ニ擬セラレタ
 ルルキハ三年ニ及フ各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又

ハ入獄贖金ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ

第二百二十三條 官吏法ニ於テ犯罪ヲ告ケラレ又ハ
 犯罪ヲ決セラレタル人ヲ監守スルノ責アル者怠慢
 此ノ如キ人ヲ脱亡セシムルルキハ二年ニ止ル無苦役
 ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ兩用シテ
 之ヲ罰ス一千八百七十年決議第二十七條第二條及ヒ

第八條ヲ見ヨ

第二百二十四條 罪人循法ノ逮捕ヲ拒抗遮妨シ或ハ
 循法ノ拘留ヲ脱亡シ又ハ脱亡セント試ル者ハ二年
 ニ及フ各種ノ入獄若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金

ヲ兩用シテ之ヲ罰ス可シ一千八百七十年決議第二十七條第二條ヲ見ヨ

説明 此條ノ刑罰ハ其本罪ノ刑罰ヲ盡シ更ニ之ヲ

加フルナリ

第二百二十五條 故意罪人ニ循法ノ逮捕ヲ拒抗遮妨

セントシ或ハ罪人ノ法ニ循テ監守セラレタル者ヲ

救ヒ又ハ救ハント試ル者ハ二年ニ止ル各種ノ入獄

若クハ贖金ニ處シ又ハ入獄贖金ヲ併用シテ之ヲ罰

ス可シ一千八百七十年決議第二十七條第二條及ヒ第

九條ヲ見ヨ

若シ逮捕セララル可キ人或ハ救ハレ又ハ救ハレント

シタル人終身流若クハ十年ノ入獄ニ該ルノ罪ヲ以

テ告ケラレ又ハ其罪ノ故ニ捕ヘラル可キキハ三年

ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處ス可シ

若シ逮捕セララル可キ人或ハ救ハレ又ハ救ハレント

シタル人死罪ヲ以テ告ケラレ又ハ死罪ヲ以テ逮捕

セラル可キキハ七年ニ及フ各種ノ入獄及ヒ贖金ニ

處ス可シ

若シ逮捕セララル可キ人或ハ救ハレ又ハ救ハレントシ

タル人ノ罪裁斷又ハ裁斷輕減ヲ以テ終身流若クハ

十年以上ノ流入獄又ハ徒ニ擬セラレタル者ハ七年ニ止ル各種ノ入獄及ヒ贖金ニ處ス
若シ逮捕セラル可キ人或ハ救ハレ又ハ救ハレントシタル人死刑ニ處セラル可キ者ハ終身流若クハ十年ニ超ヘサル各種ノ入獄ニ處ス

○魯西亞

第三百八條 獄舎或ハ其他ノ禁錮所ヲ破壊シ及ヒ禁錮人ヲ逃亡セシメ或ハ禁錮人ノ強道スルニ就テハ族權全部ノ剝奪及ヒ十五年ヨリ少カラス二十年ヨ

リ多カラサル時間鑛山懲役ニ處セラル
若シ獄舎ヲ破壊シ又ハ禁錮人ヲ逃亡セシメ或ハ禁錮人逃亡スルニ殺害或ハ放火ヲ爲ス者ハ族權全部ノ剝奪ノ上無期ノ鑛山懲役ニ處セラル
若シ禁錮人ノ逃亡スルニ番卒ニ對スル何等ノ暴行ナク破壊ヲ爲ス者ハ族權全部ノ剝奪及ヒ八年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間城寨懲役ニ處セラル

第三百九條 若シ禁錮人同心協力シテ己カ禁錮所ノ戸窓等ヲ破碎シ及ヒ番卒ニ對スル暴行ヲ用ヒテ以

テ逃亡ヲ爲スルハ族權全部ノ剝奪及ヒ十二年ヨリ
 少カラス十五年ヨリ多カラサル時間鑛山懲役ニ處
 セラル
 若シ又其者己カ犯罪ノ目的ヲ達センカ爲メニ殺害
 或ハ放火ヲモ爲シタルハ族權全部ノ剝奪ノ上無
 期ノ鑛山懲役ニ處セラル
 若シ禁錮所ヨリ逃亡セシ者番卒ニ對スル何等ノ暴
 行ヲ用ヒサリシハ族權全部ノ剝奪及ヒ西比利遠
 地ノ謫所放流ニ處セラル

第三百十條 囚徒カ一所ヨリ他所ニ轉移スル時ニ逃

亡スルニ就キ若シ其暴行ヲ以テシタルハ族權全
 部ノ剝奪及ヒ十五年ヨリ少カラス二十年ヨリ多カ
 ラサル時間ノ鑛山懲役ニ處セラル
 若シ其罪人ハ己カ犯罪ノ目的ヲ達センカ爲メニ殺
 害ヲ爲スルハ族權全部ノ剝奪ノ上無期ノ鑛山懲役
 ニ處セラル

若シ囚徒ノ逃亡スルニ何等ノ暴行ヲモ以テセサル
 ハ族權全部ノ剝奪及ヒ六年ヨリ少カラス八年ヨ
 リ多カラサル時間製造場懲役ニ處セラル

第三百十一條 若シ囚徒カ一所ヨリ他所ニ轉移スル

時ニ自ラ暴行ヲ以テ番卒ノ下ヨリ逃亡スルキハ族
權全部ノ剝奪及ヒ十二年ヨリ少カラス十五年ヨリ
多カラザル時間鑛山懲役ニ處セララル
若シ又己カ犯罪ノ目的ヲ達セシガ爲メニ殺害ヲモ
爲シタルキハ族權全部ノ剝奪ノ上無期ノ鑛山懲役
ニ處セララル

第三百十二條 禁錮人或ハ番卒ノ下ニ在ル者ハ其身
ニ關スル糾追及ヒ裁判ヲ終ラサルノ前或ハ宣告ヲ
行ハサルノ前ニ逃亡シ又ハ犯罪或ハ違罪ニ就キ既
ニ其身ニ歸シタル裁決ニ由リ其禁錮ニ處セラレテ

己レニ確定サレタル期限ノ前ニ逃亡スト雖モ番卒
ニ對スル何等ノ暴行ヲ以テセサルキハ阻隔シタル
寂莫ノ場所ニ禁錮セララル而シテ其者ノ再逃ヲ防止
センガ爲メニ法律ニ於テ允許シタル多少嚴重ノ特
別ナル豫防ノ方法ヲ取用ス而シテ又其後段ニ說キ
來ル期限前逃亡ノ場合ニ於テハ其者ノ更ニ禁錮所
ニ送致セララル、日ヨリ其禁錮時間ヲ算定ス可シ
然レモ若シ其罪人逃亡ノ爲メ番卒ニ對スル暴行ヲ
用ヒタルキハ身体及ヒ族位ニ屬シタル特權全部ノ
剝奪及ヒ此刑法第三十一條ノ第五等ニ依テ西比利

住所ノ放流或ハ懲囚隊内ノ編入ニ處セラルル
若シ又其罪人ハ犯罪ニ就キ番卒ノ下ニ在テ又他ノ
一層嚴重ナル罰ニ屬セサル可ラサル場合ニ於テハ
此罪人ニ關スル言渡ハ合犯ノ規則ニ依テ確定セラ
ル

第三百十三條 懲役人並ニ西比利或ハカフカトズ外
ノ謫所ニ放流セラレタル者ハ懲役所或ハ謫所ヨリ
逃亡スルニ就キ放流人ニ關スル法則ニ定メタル特
規ニ依テ裁判セラル可シ
西比利住所或ハ其他遠縣住所ノ放流ヨリ逃亡スル

ニ就キ其罪人ハ己カ放流ノ爲ニ決定サレタル場
所ニ復歸スルノ後禁獄ニ處セラル
但シ西比利ヨリ逃亡セシ者ハ八箇月ヨリ少カラス
一年四箇月ヨリ多カラサル時間ナリ
而シテ其他ノ遠縣ヨリ逃亡セシ者ハ四箇月ヨリ少
カラス八箇月ヨリ多カラサル時間ナリ

第三百十四條 境外ノ放流ヲ言渡サレタル外國人ハ
魯國境内ニ復歸スルニ就キ八箇月ヨリ少カラス一
年四箇月ヨリ多カラサル時間懲治舎内ノ禁錮ニ處
セラレ且再ヒ境外ニ逐出セララル

其外國人魯國ニ復歸スルノ禁制ヲ再犯スルノ場合ニ於テハ浪遊ニ就キ第九百五十一條ニ確定シタル罰ニ處セラル

第三百十五條 犯人及ヒ凡テ番卒ノ下ヨリ逃亡セシ者ヲ捕縛スルヲ妨碍スル者ハ其之カ爲メニ用ヒタル方略ノ種類ニ依リ權官ニ抗抵スルニ就キ此前文第二百七十二條ニ至ルノ各條ニ定メタル規則ニ原キテ罰ニ處セラル

第三百十六條 西比利住所ノ放流或ハ西比利諸縣ヲ除クノ外遠縣住所ノ放流又ハ懲囚隊内ノ勞役或ハ

城寨禁錮或ハ勞役舍内禁錮或ハ懲治舍内禁錮ヲ言渡サレタル者ナルヲ知テ之ヲ藏匿スル者ハ之カ爲メニ其被匿人カ處斷セラレタル犯罪ノ輕重及ヒ事ノ情實ニ依リ四箇月ヨリ少カラス八箇月ヨリ多カラサル時間ノ禁獄或ハ三週間ヨリ少カラス三箇月ヨリ多カラサル時間ノ拘留ニ處セラル
懲役又ハ西比利或ハ「カフカーズ」外ノ謫所放流ヲ言渡サレタル者ナルヲ知テ之ヲ藏匿スル者ハ之カ爲メニ其被匿人カ處刑セラレタル犯罪ノ種類及ヒ輕重並ニ事ノ情實ニ依リ族權全部ノ剝奪及ヒ西比利

謫所ノ放流又ハ身体及ヒ族位ニ属シタル特權全部
ノ剝奪及ヒ此刑法第三十一條ノ第三等或ハ第五等
ニ依テ西北利住所ノ放流或ハ懲囚隊内ノ編入ニ處
セララル

第三百十七條 犯人タルヲ知り之ヲ逃亡セシムルノ
故意ヲ以テ己カ船中ニ延入シタル船長ハ其犯人ヲ
己カ船中ニ延入シ及ヒ之ヲシテ警察ノ探求ヲ免レ
シメンカ爲メ藏匿スルノ情實ニ依リ四箇月ヨリ少
カラス八箇月ヨリ多カラサル時間ノ禁獄或ハ八箇
月ヨリ少カラス一年四箇月ヨリ多カラサル時間城

寨禁錮ニ處セララル而シテ其罰ノ外各場合ニ於テ船
長ハ之カ爲メニ千ル卜ブル以下ノ贖金ニ處セララル
而シテ番卒ノ下ヨリ逃亡セシ者ヲ延入シタル船舶
ハ裁判所ニテ確定シタル贖金ノ總額ヲ納ムル迄抑
留セララル可シ

第九百七十四條 懲役或ハ謫所或ハ懲囚隊又ハ西北
利或ハ其他遠縣住所ノ放流又ハ其他ノ禁錮所ヨリ
逃亡セシ者ヲ藏匿スル者ハ此刑法第三百十六條ニ
定メタル規則ニ依テ罰ニ處セララル

第十四條 末項 隱匿人

聊カ犯罪ヲ爲スニ與カラスト雖モ只其既ニ遂クル
ノ後ニ知テ之カ犯跡ヲ隱滅シ或ハ犯者ヲ藏匿スル
ニ與リシ者又ハ知テ他ノ者ノ攘奪或ハ其他背法ノ
所爲ヲ以テ得タル物品ヲ己レニ取り或ハ貯ヘ又ハ
他ニ渡シ或ハ賣リシ者

第二百二十四條 隱匿人ハ助謀人ノ中ニテ其所爲犯罪
ヲ遂クル爲メニ緊要ナラサリシ者ニ確定シタル罰
ニ處セラル第一百二條然レモ只一等ヲ輕減セラル可シ
第二百二十八條 子タル者ハ父母及ヒ其正統尊族ノ爲
メニ又父母タル者ハ子及ヒ其正統卑族ノ爲メニ及

ヒ夫婦兄弟姉妹相互ニ告知セサル者ハ犯罪ノ所爲
ヲ告知セサルニ就キ法律ニ確定シタル罰ニ處セラ
レスシテ此罰ハ裁判所ノ見込ニ由テ輕減セラル但
シ其本罪人ハ死刑或ハ懲役放流ニ處セラル可キモ
ノニ非サレハ然リトス而シテ若シ告知セサル者ハ
其罪人ト第二等親迄ノ近戚ナル歟又ハ其罪人ヨリ
教養ヲ受ケ或ハ其他ノ恩德ヲ蒙リシナラハ其罰全
ク廢棄セラル可シ此主義ニ於テ著明ノ惡謀ヲ告知
セサルノ罰ハ緩弛セラルト雖モ只少許ノ輕減ノ
ミナリ

隠匿ノ爲メニ確定スル罰モ亦斯ノ如ク輕減セラレ
而シテ若シ其隠匿人ハ犯罪ノ同謀人ニアラスシテ
只其犯成ノ後ニ縁族或ハ近戚又ハ恩人タル犯者ヲ
隠匿スルニ助力セシノミナラハ其罰全ク廢棄セラ
ル可シ

此第二百二十八條ノ規則ハ刑法第二百四十一條第二
百四十四條第二百四十九條及ト第二百五十三條ニ
掲載シタル國事犯罪ヲ告知セザル歟或ハ隠匿スル
ノ罪人ニハ及ホサス

〇墾地利

千八百五十二年五月二十七日布告

第二百十四條

第二官重罪若クハ重罪者ヲ探索スルニ方リ其須

要ナル告知ヲ點置シ詳カニ言ヘハ其發覺ヲ故ラ

ニ支障スルカ或ハ少クモ發覺シ難ラシメンコトヲ

要シ又ハ重罪者ヲ遁逃セシメ又ハ重罪者ナルヲ

知テ之ヲ陰伏セシメ或ハ其聚合ヲ妨ケ得可キニ

却テ之ヲ輔翼スルキ

第二百十五條 該隠匿者叛逆反間妄ニ兵士徵募等ノ

犯罪ヲ知テ告知ヲ拋擲シ因テ本罪共犯ノ罪ヲ得ル

ニ於テハ(第六十一條第六十七條及ヒ第九十二條ノ
ク如)其隱匿セラル、本重罪ノ危険及ヒ此隱匿ニ因
テ増加セル妨害ノ多少ニ從テ六月以上一年以下ノ
徒刑ニ處ス可シ又其重罪者ヲ伏匿セシムルカ或ハ
其聚合ヲ輔翼セルニ於テハ之ヲ五年以下ノ重徒刑
ニ處ス可シ

第二百十六條 然レモ重罪者ノ親族又ハ昇線降線ノ
縁者及ヒ兄弟姉妹甥姪尙ホ親密ナル夫婦間及ヒ配
偶者ノ兄弟姉妹及ヒ兄弟姉妹ノ配偶人モ爲メニ唯
隱匿ヲ爲スト雖モ未タ此隱匿ノミヲ以テ之ヲ刑ス

可ラス

第二百十七條

第三 重罪犯爲ヲ以テ拘留セラレタル者ヲ逃亡セ
シム可キ爲メ偽計若クハ暴行ヲ以テ其機ヲ得セ
シメ或ハ追索官ノ捕獲ヲ妨ケシキ

第二百十八條 其刑

前條ノ加功ヲ爲ス者監護ノ責ヲ負フ者カ或ハ該加
功者其拘留又ハ叛逆紙幣類若クハ貨幣贋造謀殺強
盜或ハ放火等ノ重罪ヲ以テ處刑宣告ニ及ヒタルヲ
知テ之ヲ爲スニ於テハ其刑重徒トス但シ叛逆若ク

ハ紙幣類贋造ヲ以テ拘留セラレタル者ニ加功ヲ爲セシキハ五年以上十年以下又右ニ記載セル罪科中他罪ニ於テハ其期一年以上五年以下

第二百十九條 前條ニ掲載セシモノヨリ他ノ重罪犯爲ヲ以テ拘留セラレ目今糺彈中若クハ處刑中ナルカ或ハ其加功ヲ爲セシ者該犯罪者拘留ニ關シ更ニ格別ノ責ヲ負ハサルハ六月以上一年以下ノ徒刑ニ處ス可シ

第二百二十條

第四 凡軍隊ヲ脫去セル兵士若クハ使部(脫隊人逃

亡者ヲ豫メ定約ヲ爲サスト雖モ道路ヲ指示シ服裝ヲ變セシメ或ハ隱匿シ又ハ己ノ所ニ陰伏セシメ爾他凡斯ノ如キ方法ヲ以テ輔翼ヲ爲シテ其逃亡ヲ保庇シ或ハ其追蹤捕獲ヲ妨クル者

第二百二十一條 前條ノ如キ加功者ハ其罰金トシ百

「ブルデン」ヲ軍備へ收納セシム可キノミナラス尙ホ六月以上一年以下ノ徒刑ニ處ス可シ然レモ其加功タルヤ或ハ脫隊人ヲ久シク隱匿シ又ハ軍服武器軍馬爾他戎裝器ヲ買收シ又ハ之ヲ隱匿シテ利益ヲ得ント欲シ其他總テ犯爲ノ情狀特ニ重キニ於テハ一

一十年以上五年以下ノ重徒刑ニ處テ可シ又該犯罪者其贖罪金ヲ納メ得ルニ於テハ其刑期ヲ長カラシメ或ハ之ヲ苛酷ナラシムルコト又脫隊人捕縛ニ就クト雖モ加功者ニ對シ本刑ヲ用フルハ毫モ殊ナル所アル可ラス

註ニ曰本條ニ掲ケタル罰金收納ノ刑斷決ノ後ハ假令該人死亡スト雖モ尙ホ廢止セス其相續人之ヲ辨償スルコトス(千八百五十九年四月三日ノ司法省布達 法律纂集第二十五號)

○加利堡爾尼

第一百六條 凡囹圄中若クハ官吏ノ監獄中ニ拘禁セラ

レタル罪囚ヲ救拔シ若クハ救拔セシト試過スル者或ハ他人ノ之ヲ救拔シ若クハ救拔セント試過スル

ヲ幫助スル者ハ並ニ左ノ懲治ヲ科ス

第一項 其罪囚若シ死ニ入ル應キ大罪ニ決罪セラ

レタル者ニ係ルルハ一年以上十四年以下ノ禁固

ヲ科ス

第二項 其罪囚若シ死ニ入ラサルハ大罪ニ決罪セ

ラレタル者ニ係ルルハ六月以上五年以下ノ禁固

ヲ科ス

第三項 其罪囚若シ大罪ヲ以テ負頼セラレタル者ニ係ルキハ一千元以下ノ罰金ト二年以下ノ禁固トヲ併科ス

第四項 其罪囚若シ大罪ニ至ラサルノ罪ヲ以テ負頼決罪セラレタル者ニ係ルキハ五百元以下ノ罰金ト六月以下ノ禁固トヲ併科ス

第一百二條 凡依法的ニ責付セラレテ官吏若クハ其他ノ人民ノ監護中ニ在ル物件ヲ故ラニ毀傷破壊取去シ若クハ取去セント試過スル者或ハ人ノ之ヲ取去

シ若クハ取去セント試過スルヲ幫助スル者ハ並ニ小罪ト爲ス

第一百五條 凡州圀ヲ逃脫スル罪囚ハ拘禁終身ノ者ヲ除クノ外各其原犯ノ禁限ヲ倍科ス

第一百六條 凡州圀ヲ犯脫セント試過スル罪囚ハ拘禁終身ノ者ヲ除クノ外並ニ大罪ト爲ス

第一百七條 凡州圀ニ非サル獄舎ヲ逃脫シ若クハ逃脫セント試過スル罪囚ハ並ニ小罪ト爲ス

第一百八條 凡司獄官成法官副成法官成法吏圀司若クハ獄舎ヲ護衛スル士卒若シ瞞騙的ニ罪囚ノ逃脫ヲ

發起畫策幫助默縱故縱スル者十年以下ノ禁固
一萬元以下ノ罰金ト法併科スル官吏
第百九條 凡囹圄中若ク逃官吏
逃シタル罪囚以逃脱シ若ク逃脱シテ試過スルヲ
故ラニ幫助スル者ハ其刑並ニ上條ニ同シ

第百十條 凡罪囚ノ逃脱ヲ利便セシテ企欲シテ其逃
脱ニ要用スル器械物品ヲ其獄中ニ搬去送致スル者

其刑亦上條ニ同シ
各國刑法類纂下卷終

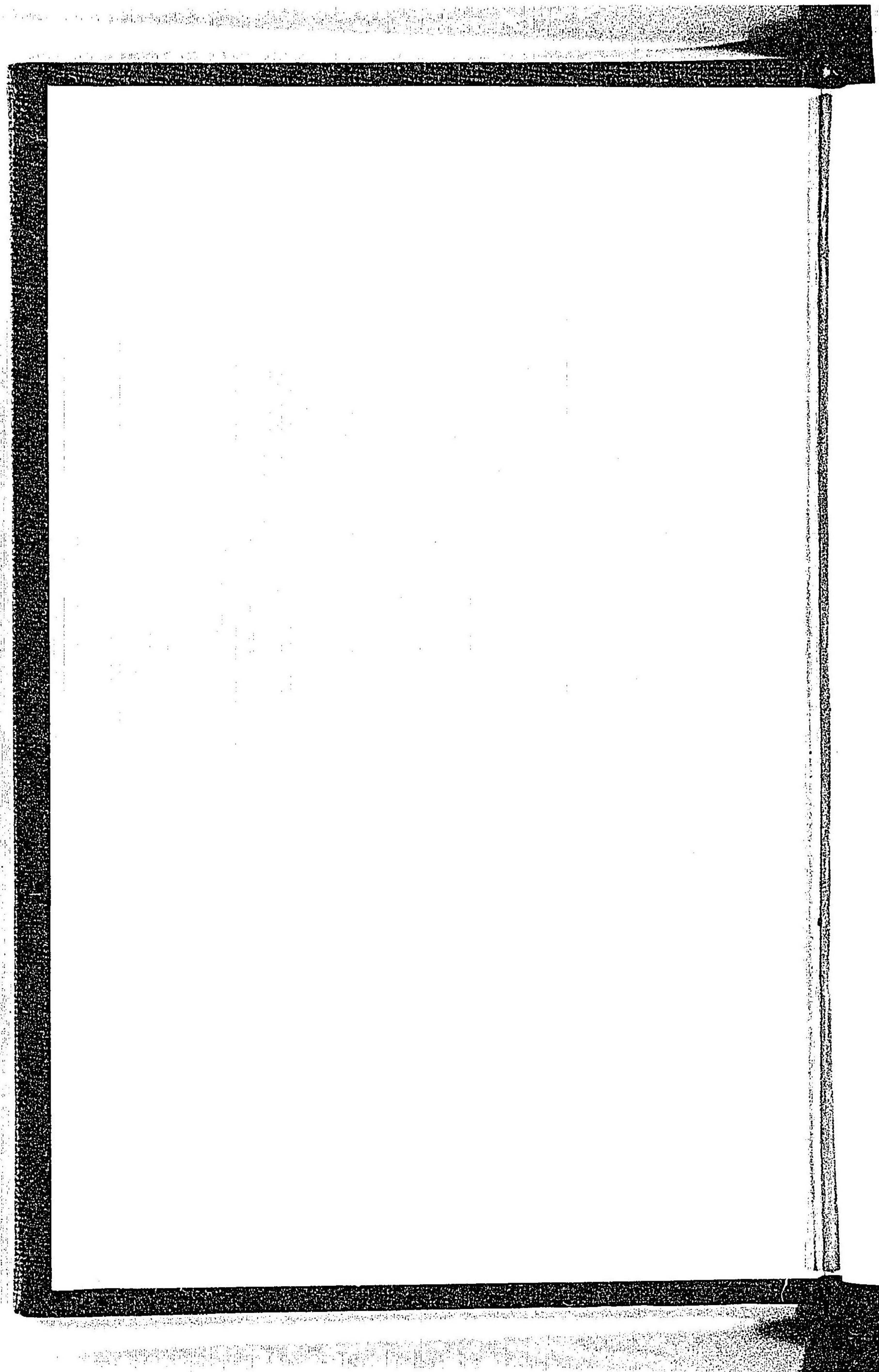
正誤

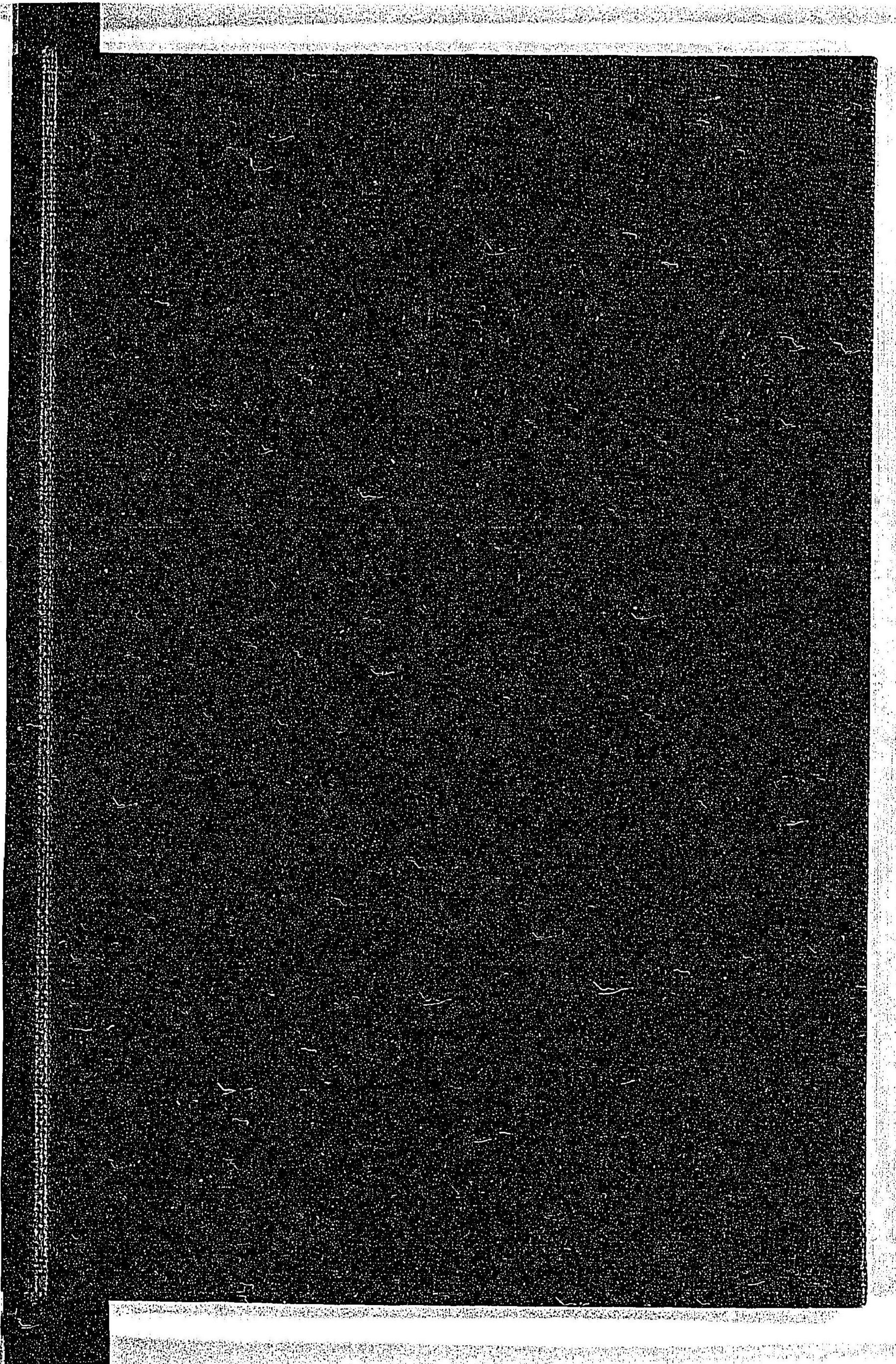
- 六十三丁七行イヘルハイヘル
- 百五十丁十行熱ハ熱
- 三百四十九丁十行名ハ各
- 三百六十五丁二行持ハ特
- 四百三十三行ルハチ
- 四百八十八丁三行ハハニ
- 四百五十九丁八行及シハ及ヒ
- 四百六十九丁六行ノ犯ハ盜犯
- 四百七十一丁十行註二十三ハ四十三
- 五百十三丁三行厥ハ闕
- 七百二十四丁四行シハル
- 八百六十三丁三行等ハ第
- 九百七十一丁七行買ハ買
- 千三十三丁五行或ニハ或ハ
- 千百九十丁十行長船ハ船長
- 千三百八丁一行處ハ封

千キ+B-?

二

千四百二十四丁九行註提(堤) (堤)
 千四百三十四丁五行禁獄禁(禁獄) (禁獄)
 千四百四十三丁二行註提(堤) (堤)
 同丁九行十行提(堤) (堤)
 千四百四十六丁一行(シ) (シ)
 千四百七十五丁七行箱(箱) (箱)
 千五百二十八丁一行尊(尊) (尊)
 千六百三十六丁八行(シ) (シ)
 千六百五十五丁二行刑(刑) (刑)
 千六百六十丁一行(チ) (チ)
 千七百二十丁二行(シ) (シ) (如) (如)





035560-003-2

C711-01

各国刑法類纂

司法省

下

M11-13

BBP-0106

